

# 和合

No.160  
2024.9.1

題字：三浦修次

## 主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……………2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- 人生100年時代……………3
- 四小通信……………4
- わたしが描く和合の里……………5
- わたしから見た和合の里……………5
- よつばこ通信……………6
- くらしの安全情報……………7
- わごう駐在所……………7
- 和合の里 INFORMATION……………8

阿部亀治記念第5回和合の里フォトコンテスト一般の部「優良賞」

作品名「木漏れ日の中に踊る」 撮影者：石崎幸宏 撮影場所：南興屋八幡神社



# 和合の里 あれこれ

## 【赤渕新田編】

### ①村のはじまり

かつて最上川は現在の沢新田の北から、連枝と赤渕新田の西を通り、南野にかけて南下し、国道47号線沿いに廻館と堤新田の間をU字形に流れていました。正保元年（1644）、最上川の流れを直線に改良する工事が行われました。これによって開けた原野ができたことから、明暦元年（1655）に藤原村を開村しました。その後、赤渕村（現在の字赤渕、南野村の西方）の人々が移住し、元禄2年（1689）に赤渕新田として開村しました。舟つなぎの松付近は深い淵で赤い土質であったため、赤渕と呼ぶようになったといわれています。

皇大神社の敷地内には赤渕新田開発の代表者と言われている渋谷弥次右衛門の「百年諱供養塔」が建立されています。正面には「帰真不傳無等沙彌之墓 元文三年（1738）八月十日」と刻まれていることから、開村から数えて50年目に亡くなったようです。



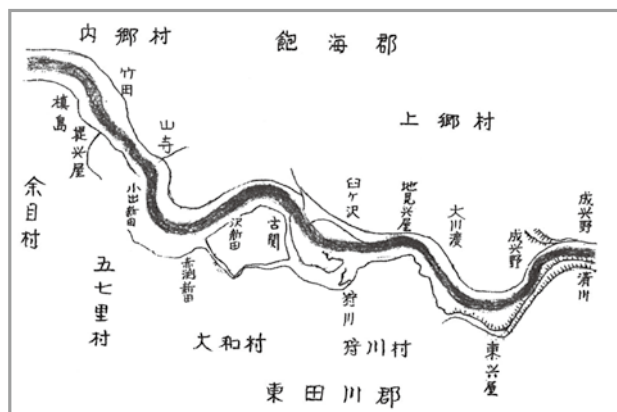
皇大神社



百年諱供養塔

### ②赤渕土場

明治になると、経済の発展に伴って商品流通が盛んになり、最上川の舟運がその主役になりました。道路や鉄道が整備されなかった時代には、舟が物資の長距離輸送の唯一の手段でした。この地はかなり早くから渡船場、舟運の基地として利用されていましたが、集落が形成されたのは明治以降でした。村からも材木商などをしてきた家がこの土地を利用していました。大正に入り陸の交通が発達したことにより、大正9年（1920）の土場からの米の舟積を最後に舟運は衰退しました。



明治17年（1884）の地図

### ③いしずえの碑



いしずえの碑

太平洋戦争（1941～1945）の戦没者6名を祀る石碑です。昭和53年（1978）に皇大神社の敷地内に造立されました。アジアや太平洋の各地が戦場となったこの戦争では、和合の里から出征した方からも数多くの犠牲者が出ました。戦場へ送った夫や子ども達の無事を祈りながら、残された女性たちは牛や馬を使って慣れない馬耕や肥引きをしながら家族の帰りを待ちました。終戦後は犠牲になった方々の冥福を祈るため、忠霊塔の造立や遺族会による慰霊祭が執り行われました。

大和地区遺族会の4代目会長（1955～1964）として赤渕新田より荒木七郎右衛門氏が名を連ねています。荒木氏は昭和3年（1928）に南野駅北側から庄内町指定文化財の櫛目紋経筒外容器を発掘したことで知られております。櫛目紋経筒外容器は亀ノ尾の里資料館で展示しております。

パパとママにインタビュー

# はやぐおっきぐなれの～!



すずき えいと  
鈴木 瑛翔ちゃん

(前田野目)

令和5年4月12日生まれ

パパ：健太 ママ：咲子

## 🍀1 名前の由来は？

当時3歳だった長女が名付け親です。どんな名前がいいか考えていると「えいと君だよ！」と決めてくれました。夢や好きなことに向かって羽ばたいてほしいと願いつけました。

## 🍀2 今一番の興味やハマってることは？

車のおもちゃや乗り物が大好き!

## 🍀3 最近記憶に残ったエピソードは？

自分で歩くことの楽しさを知って家中探検しています。

## 🍀4 パパママの失敗談 (子育てあるある)

歩きはじめて顔をぶついたり、火傷したり……。ケガが絶えません(笑)

## 🍀5 パパママからのメッセージ

みんなを癒してくれる笑顔♡  
たくさん笑ってこれからも元気に大きくなってね!



## 人生100年時代

～社会参加でフレイル予防! 誰かのために、自分のために!～

保健福祉課 高齢者支援係  
主任 高橋 正和



はじめまして。4月から保健福祉課高齢者支援係に配属になった高橋です。よろしくお願いします。

皆さんはフレイル予防をしていますか?フレイルとは、年を取ってきて心身がちょっと弱くなった状態のことで、そのままにすると介護が必要になる可能性があります。フレイルを予防したり、フレイル状態から健康な状態へ戻るためには、「運動」「栄養」「社会参加」の3本柱が重要です。

その中で今回は社会参加の大切さについてご紹介します。社会参加といっても大げさに考えることはなく、ちょっとした外出でもいいのです。外に出て誰かと一緒に活動したりおしゃべりすると、自然と活動量が増え、食事量も増えて、健康増進と体力維持の効果も期待できます。

身近な例の1つが、和合の里を創る会で行っている「便利屋わごう」の活動です。「便利屋わごう」では、第四学区にお住まいの方を対象に、買い物や通院の付添い等を行っており、活動しているスタッフの方は「サポートした方が喜んでくれることが嬉しい」とやりがいを持って活動されています。ご自身で無理なくできる範囲の支援で誰かを笑顔にできるのであれば、それはとても素敵な社会参加ではないでしょうか。

「何かできるかな」「誰かのために何かしたい」という思いをお持ちの方は、ご自身のフレイル予防のために、そして地域の活力の底上げに、ぜひ活動に参加してみませんか!





えがお 輝く 四小っ子

# 四小通信



【校訓】三愛精神「人を愛し、ものを愛し、学問（真理）を愛する」

## 1 学期を振り返って

皆様のおかげで、順調に1学期の学習を終えることができました。2学期も「実りの秋」となりますよう  
ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 6/27, 28 6年修学旅行

今年度より見学先を宮城県仙台市に戻しました。  
水族館、笹かま館、日本銀行仙台支店、青葉城  
資料館、仙台駅、震災遺構 荒浜小学校、科学館、  
地下鉄乗り換え、ベニーランドと充実した学習や  
体験ができました。

### 7/9, 10 5年自然教室

あいにくの雨となりましたが、さまざまな活動を通  
して仲間との絆が強くなった2日間となりました。  
ボンファイヤーや、ユニホックなど新たな体験が  
できました。2日目は丸池様を見に行ったり、スト  
ラップを作ったりしました。



### 7/11 不審者対応訓練

もしもの時のために訓練をしました。「いかのおすし」



### 読み聞かせ

今年度11名の方々からお世話になっております。  
本の世界にひたることができます。



### 7/3 メディアとの付き合い方→

こころの医療センターの阿久津ドクターから  
4～6年生に教えていただきました。





## 余目第四小学校 6年生 わたしが描く和合の里



**ぼ**くが描く「和合の里」は、みんな仲良しで明るいところです。理由は、みんな仲よしだと毎日が楽しく笑顔あふれる生活を送れると思うからです。そのためにはみんなと仲良くして友達や地域の人たち、学校の先生の方々にやさしくすることが明るい「和合の里」を作ることにつながるのだと思います。



**ぼ**くは、思いやりのある和合の里にしたいです。理由は、友達だけにやさしくしても、思いやりではないと思うので、大人や子どもなど、だれにでも思いやりをもって行動をしたいです。そして、みんなが助け合い、思いやりのある和合の里にしたいです。



**ぼ**くにとっての和合の里とは、笑顔であふれていて、みんな元気で、思いやりのある場所だと思います。いつも笑顔で、みんなで助け合い、みんなですぐ幸せを分かち合っていて、苦しみを分かち合っている。そんな場所だと思います。

## わたしから見た 和合の里



前 庄内町立余目第四小学校  
主事 古川 晶

**余**目第四小学校には平成二十八年からの八年間、大変お世話になりました。思い返すと、四小は保護者、地域の方々から支えられている学校だったのだなあと改めて感じています。畑の先生として苗の準備やお世話を手伝ってくださるおじいちゃん、おばあちゃん、本の読み聞かせにいらっしやる福本袋さんや図書館の掲示物を作ってくださいるボランティアさん、わごうの広場で見守りをしてくださる方々。また、地域の方からいただくお花は、校内が華やかに、いつも癒やされました。沢山の方が関わってくださいるおかげで色々な活動ができました。私は事務なので、直接子どもとかかわる機会は少なかったのですが、そのようなあなたたかい環境で育つ和合の里の子どもたちの頑張りや成長をすぐそばで見たり、職員室で先生方から聞いたりするのが毎日の楽しみでした。

母校よりも長く過ごした八年間は、私にとって大切な思い出いっぱい입니다。これからも和合の里の益々の発展を心から祈っております。本当にありがとうございました。



# 余目第四幼稚園 よつばっこ通信



春に植えたジャガイモがどんどん枯れていき…これは病気ではないか?!と心配しながら今年は6月に(いつもは7月になってから)収穫しました。年長児が茎を取り除き土の中を掘っていくとジャガイモがゴロゴロ!!宝探しのように夢中になって探していました。(おまけで太っちょミミズも大量に出現!土を美味しく<sup>かくはん</sup>攪拌してくれることを知る場となりました)



みんなで力を合わせて運んだ後は…数を数えながら並べていきます。**数に興味を持つ機会大切に**しています。



力を合わせ「わっしょい! わっしょい!」「重いなあ〜」



1・2・3・4・5…  
次はこの  
ジャガイモも!



ジャガイモは粉ふき芋・芋の煮ころがし・フライドポテトにいただきました。お家にも持ち帰り、食育体験の場になっています。



収穫した後は…



一度自分達でも洗います!



園外保育で町探検(図書館・支援センター・余目町農協)



地域を知り、地域を愛する機会も大切にしています。



お金の支払いも自分で!

# 事件、事故のない和合の里を くらしの安全情報 秋の交通安全県民運動



日の入りの時間が早くなる秋以降は、夕暮れ時から夜間にかけて例年重大事故が発生しています。急激に周囲が暗くなるのに対して、暗闇に目が慣れるのには時間がかかり、車や自転車、歩行者それぞれが相手を発見するのが遅れてしまうことが原因のひとつです。

歩行中に交通事故の被害にあう割合の多くを占めるのは主に高齢者です。家庭でも日常生活の中で安全対策について教えたり、危険な行動を取っていないか確認しましょう。交通事故を防ぐための行動についてご紹介します。

## ■交通安全運動の3つのポイント

- ・夕方以降の外出は明るい色の衣服を着るなどし、反射材を着用しよう。道路を横断するときは手や横断旗で横断の意思表示をして、渡る際も左右の安全を確認しましょう。
- ・日が暮れ始める前に車や自転車のライトを早めに点灯しよう。車のハイビームも有効です。右側からの横断者には特に注意しましょう。
- ・自転車も乗車するときはヘルメットを着用し、交通ルールにしたがおう。

## ■危険な行為の防止

- ・運転中のスマートフォンの使用は絶対禁止。よそ見はしない。
- ・妨害運転やあおり運転など危険な運転を防止しよう。「思いやり、ゆずり合い」の気持ちを持とう。
- ・飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない。

## ■和合の里の事故の起きやすい場所

交通量の多い国道47号線沿いや十字路の出会い頭で事故が起きやすい傾向にあります。周囲をよく見て通行しましょう。

秋の交通安全県民運動期間 令和6年9月21日(土)～9月30日(月)  
9月30日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。



庄内警察署  
後藤 紘  
(第四学区担当)

## わごう駐在所

～庄内警察署からのお知らせ～

## キノコ採りでの遭難防止

道迷いや滑落等に注意して、キノコ採りでの遭難を防止しましょう



**遭難しないための心掛け!**



- 慣れた山でも家族等に行き先を必ず告げて、複数名で入山しましょう。
- 携帯電話を持って行き、居場所が分かるようにGPS機能を有効にしましょう。
- 携帯電話の電池切れに備えて、予備バッテリーも持って行きましょう。
- 道に迷ったら来た道に戻り、分からなければ見晴らしの良い場所で救助を要請しましょう。
- 急斜面は滑落しやすいので、ヘルメットや命綱を使用しましょう。
- 短時間の入山予定でも、食料や水のほか、天候の急変に備えて雨具や防寒具を準備しましょう。
- クマとの鉢合わせを防ぐため、クマ鈴、ホイッスル、ラジオ等を携行しましょう。



## 和合の里 夏の一斉クリーンデー

7月から8月にかけて、各部落会、自治会によってクリーンデーが実施されました。7月25日(木)にはあいにくの大雨に見舞われましたが、その後天気は回復し、無事に開催できました。参加者のみなさんで協力して道路のゴミ拾いや花壇の手入れ、公共の施設の除草等に取り組み、和合の里の美化に取り組みました。

